

インターネット上の情報の正しさ

インターネットでは、キーワードを入力するだけで、自分の欲しい情報を簡単に調べることができますし、24時間いつでも最新の情報を入手できてとても便利です。何か調べものをするときは決まってインターネットを使う、という人も多いかと思います。

しかし、いいことばかりではありません。インターネットには、嘘や間違った情報も多くあるのです。

インターネット上の嘘や間違った情報

インターネットには、誰でも自由に情報を発信できるという特徴があります。例えば新聞やテレビの多くは、発信する前にその情報が正しいかどうかチェックが入りますが、インターネットではそうした手順は踏まれません。間違ったことを書いてもそれがそのまま公開されてしまいます。そのため、インターネットには嘘や間違った情報が多くあるのです。

インターネットに投稿された嘘や間違った情報は、大きな問題を引き起こしてしまうこともあります。例えば震災時、インターネット上には避難場所などの情報が飛び交いましたが、一方で、「〇〇地域で有害物質を含んだ雨が降る」「水道水に異物混入の可能性がある」といったデマも拡散されました。

こうした情報を広めた人たちは、「人命にかかわる大事な情報だから早くみんなに教えな」という善意の気持ちで拡散したのですが、その情報が正しいものかどうか確認せずに広めてしまったため、結果的に多くの人を混乱させることになってしまいました。



【拡散希望】

■■の火災の影響で、
〇〇地域で有害物質を
含んだ雨が降ります。
体が雨に接触しないよ
うにしてください。

情報の正しさを確認する習慣を

インターネットには、多くの嘘や間違った情報もあり、情報の真偽を確かめずに拡散すると大きな問題を引き起こしてしまう可能性があります。そうした事態を防ぐためにも、以下のような点を習慣としておこなうことが大切です。

- ・正しいかわからない情報は発信・拡散しない
- ・情報が載っているサイト、また情報の提供もとが信頼できるかどうか確認する
- ・インターネットだけを見てその情報を判断せず、書籍や新聞など複数のメディアから情報を入手する